

第3回かわさきコンパクト委員会 議事録

日 時：2012年10月2日（火）午後1時40分～午後3時30分

場 所：川崎市役所本庁舎 北館 第二会議室(5F)

出席者：〔委員〕庄司、瀧田、小倉

〔川崎市〕地球環境推進室

〔事務局〕一般社団法人CAT

1. 上期事業の報告について

(1) 上期実施の事業

事務局から上期事業を報告し、下記の質問・意見が委員から挙げられた。

- 6月のセミナーに参加を希望している企業があったが、その後参加に関する連絡は来ているか。
- (事務局) その後市・事務局から連絡はしているが、参加に関する連絡は来ていない。
- その後他所で会った際に聞いたところ、社内手続きを進めておりすぐには参加できないが検討している、と聞いた。
- セミナー参加者を中心に積極的なアピールが必要。様々な場面で名刺交換をした人にメールで案内を送ることはできないか。
- (事務局) かわさきコンパクトニュースレターの内容を配信できないか、検討する。
- かわさきコンパクトを紹介する、年間を通じて使えるリーフレットが数多く必要。高価なカラー印刷でなく、簡易印刷でかまわないので情報を絞ったものがよい。
- リーフレットは、1月末の市民活動フェアで配れるようにしたい。

(2) かわさきコンパクトセミナー

事務局から第2回セミナーの調整状況と代替案について説明をした。

提案した講師について了承され、11月開催の第2回セミナーをNPO パートナシップ・サポートセンター、1月開催の第3回セミナーを株式会社クボタにて進めることを確認した。

11月開催の第2回セミナーについては、第1候補日時を11月13日(火)午後、第2候補日時を11月19日(月)午後と決定した。委員の予定を鑑み、13日開催の際は庄司委員・瀧田委員が、19日開催の際は小倉委員が進行することを確認した。

なお、会場について、駅から交通の便のよいところを優先してほしい、と委員の意見が出た。

2. 今後のかわさきコンパクト事業推進について

川崎市から現在予定している取り組みについて、下記の報告を行った。

- グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク(GC-JN)事務局への訪問を10月中

に予定しており、連携を強化する。

- かわさきコンパクトへの参加推進に向け、スマートライフスタイル大賞への参加団体に対し積極的に声をかけていく。
- 市として、チラシ・リーフレットなどを、市民向け・ビジネス向けなど用途に適した形態で用意していきたい。
- 今後のかわさきコンパクトの取り組みに対して、国際課等他部局との連携も視野に、委員会の議論を通じて、年度内には方向性を固めたい。
- 他部局との意見交換は、庁内推進会議を通じて実施する。

市からの報告に対し、委員から以下の意見が出た。

- 3月のフォーラムのテーマ・イメージはすでに決まっているか。
- (事務局) 現在検討している段階で、まだ具体化していない。
- その状況であれば、GC-JNとも関連して「国際化」を意識したづくり、例えば国際的な取り組みを、環境を入口として活動しているNPOを招いたり、企業側は生き残り戦略として国際化している部分の発表を取り入れたりかどうか。
- 「環境」という切り口で、GC-JNがどんな活動情報を持っているか、是非ヒアリングして来てほしい。
- 国際的な活動としては市内でも生協による「We-JAPAN」「We-shop」という取り組みがある。
- 外国人の雇用をしている企業は、外国人の生活をわからないと成り立たない。現場の外国人労働者だけでなく、管理職を招いてはどうか。
- 外資系だけでなく、国内IT系企業も外国人雇用の専門部署があるので、国際化という視点ではそういったターゲットも考えられる。
- フォーラムの日時・会場・内容については？
- (事務局) 第1回委員会で提案した100名規模の会場を想定し、1月中には広報ができるように、おおよその中身を例年決めている。日程に関しては、末吉委員のスケジュールを確認し検討していく。前年度フォーラムは2時間だったので、講演やパネルディスカッションの内容によって時間も調整する。
- 昨年度フォーラムアンケートにも末吉委員の講演を再度聞きたいと意見があり、ぜひ委員会としても実現したい。
- フォーラム会場は、高津市民館・中原市民館など、市中央部が行きやすい。
- 庁内推進会議はすでに存在しているのか。
- (市) かわさきコンパクトの初期に集っていた枠組みを使うか、温暖化など既存の委員会を活用するか、検討していく。

(3) 委員会の開催について

委員から今後のかわさきコンパクトについて議論を深めるため、委員会の開催に対して

下記意見が挙げられた。

- 委員会を3月のフォーラムとは別に開催できないか。
- フォーラムより前、1年半ばに委員会が集まれるのが望ましい。
- 3月のフォーラムへの出席に対する謝金は不要なので、委員会を独立して1月に実施したい。

次回委員会の開催に向けて、下記内容を全会一致で確認した。

- 1年半ばに委員会を開催する。
- 議題はフォーラムの内容、次年度の事業展開を予定する。

3. 事務連絡

瀧田委員から、シンポジウムの案内があった。

次回の委員会日程などの調整事項に関しては、メーリングリスト上で行うことを確認した。

4. 閉会